

第87期 定時株主総会 招集ご通知

開催日時

2019年6月21日（金曜日）午前10時
（受付開始：午前9時）

開催場所

コングレスクエア日本橋
2階 コンベンションホールAB

議案

第1号議案 取締役8名選任の件
第2号議案 監査役1名選任の件

目次

ごあいさつ	1
第87期定時株主総会招集ご通知	2
株主総会参考書類	4
議案	
第1号議案 取締役8名選任の件	4
第2号議案 監査役1名選任の件	14
事業報告	
1. 企業集団の現況に関する事項	15
2. 会社の株式に関する事項	23
3. 会社の新株予約権に関する事項	24
4. 会社役員に関する事項	24
5. 会計監査人の状況	27
6. コーポレート・ガバナンス体制について	29
7. 剰余金の配当等の決定に関する方針	30
連結計算書類	31
計算書類	33
監査報告書	35
中期経営計画説明会のご案内	38
トピック	39



日水製薬株式会社

証券コード：4550

株主総会当日のお土産はございません。
何とぞご了承ください。

ごあいさつ



代表取締役社長執行役員

小野 徳哉

株主の皆さまには、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第87期連結会計年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業の経過およびその成果につきまして、ここにご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2019年5月

経営の基本方針

長期的に持続的成長をする企業

- ・品質への追求を続け、経営理念を全うすること
- ・時代の求める魅力ある個性的な製品を提供すること

イノベーションポリシー (Sustainable Innovation)

- ・企業として長期的な成長を目指すこと
- ・オープンイノベーションの中で新たなビジネスを生み出すこと
- ・既存の製品にオンラインで付加価値を付けてグローバルにサービスを提供していくこと



株 主 各 位

東京都台東区上野三丁目24番6号
日水製薬株式会社
代表取締役
社長執行役員 **小野 徳哉**

第87期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りまことにありがとうございます。

さて、当社第87期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいます。同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示いただき、2019年6月20日（木曜日）午後5時までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2019年6月21日（金曜日）午前10時
2. 場 所 東京都中央区日本橋一丁目3番13号 東京建物日本橋ビル
コングレスクエア日本橋 2階 コンベンションホールAB
3. 会議の目的事項
報告事項 1. 第87期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）事業報告および連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第87期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）計算書類報告の件
決議事項 第1号議案 取締役8名選任の件
第2号議案 監査役1名選任の件
4. 招集にあたっての決定事項
当社は、以下の事項をインターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.nissui-pharm.co.jp>）に掲載しておりますので、法令および当社定款第16条の規定に基づき、本招集ご通知の添付書類には、当該事項は記載していません。
 - (1) 事業報告の以下の事項
業務の適正を確保するための体制および当該体制の運用状況
 - (2) 連結計算書類の以下の事項
①連結株主資本等変動計算書
②連結注記表
 - (3) 計算書類の以下の事項
①株主資本等変動計算書
②個別注記表

以 上

- ◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付へご提出くださいますようお願い申し上げます。
- ◎株主総会参考書類ならびに事業報告、計算書類、連結計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.nissui-pharm.co.jp>）に掲載させていただきます。

株主総会終了後、中期経営計画説明会を開催いたします。詳細は38ページをご参照ください。

議決権行使についてのご案内

4 ページ以降の株主総会参考書類をご検討いただき、以下のいずれかの方法により、議決権をご行使くださいますようお願い申し上げます。

● 株主総会への出席 ●



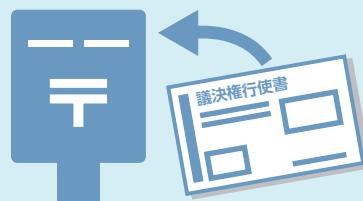
株主総会開催日時

2019年6月21日（金曜日）
午前10時〔受付開始 午前9時〕

同封の議決権行使書用紙をご持参いただき、会場受付にご提出ください。
開会直前には会場受付が大変混雑いたしますので、お早めのご来場をお願い申し上げます。

※代理人による議決権のご行使は、議決権を有する株主の方1名に委任する場合に限られます。
なお、この場合、代理権を証明する書面のご提出が必要となりますので、ご了承ください。

● 書面による議決権行使 ●



行使期限

2019年6月20日（木曜日）
午後5時到着分まで

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、行使期限までに当社株主名簿管理人に到着するようご返送ください。

※各議案に対し賛否の表示がない場合は、賛成のご表示があったものとして取り扱わせていただきます。

ご不明な点につきましては、以下にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎0120-782-031（平日午前9時から午後5時まで）

株主総会参考書類

議案および参考事項

第1号議案 取締役8名選任の件

取締役 小野徳哉、谷津精一、関口洋一、柴崎栄一、安島孝知、加藤和則の6名が本総会終結の時をもって任期満了となり、また経営陣強化のため取締役2名を増員いたしたく、つきましては、取締役8名の選任をお願いいたしたいと存じます。

取締役候補者は次のとおりです。

候補者番号	氏名	現在の当社における地位および担当	取締役会出席比率
1	小野 徳哉 	代表取締役（社長執行役員）	100% (15回中15回)
2	谷津 精一 	取締役（執行役員 子会社担当 兼 事業支援本部長）	100% (15回中15回)
3	佐藤 高輝 	—	—
4	斎藤 伸 	—	—
5	関口 洋一  	取締役	93.3% (15回中14回)
6	柴崎 栄一   	取締役	100% (15回中15回)
7	安島 孝知   	取締役	100% (15回中15回)
8	加藤 和則   	取締役	100% (15回中15回)

候補者番号

1

おの
小野 徳哉

● 生年月日 1962年9月12日生（満56歳）

再任



略歴、地位、担当

1986年 4月	当社入社	2014年 4月	同代表取締役専務執行役員 営業・生産・研究部門管掌
2010年 6月	同執行役員 診断薬マーケティング部長	2014年 6月	同代表取締役社長執行役員 現在に至る
2011年 6月	同取締役執行役員 事業企画推進室長	2018年 5月	一般社団法人 日本臨床検査薬協会会長 現在に至る
2013年 4月	同取締役専務執行役員 事業企画推進室長		

- 所有する当社の株式の数
25,180株
- 重要な兼職
一般社団法人
日本臨床検査薬協会 会長

取締役候補者とした理由

小野徳哉氏は、主に診断薬営業部門を経て、2010年に執行役員に就任後、2011年より取締役執行役員、2013年より取締役専務執行役員、2014年より代表取締役社長執行役員を務めており、当社における経営全般の管理・監督機能を担ってまいりました。以上のことから、今後も取締役としての職務を適切に遂行することができるものと判断いたしました。

(注) 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

候補者番号

2

 やつ せいいち
 谷津 精一

● 生年月日 1958年10月31日生 (満60歳)

再任



略歴、地位、担当

1981年 4月	当社入社	2017年 4月	日水製薬医薬品販売株式会社 非業務執行取締役 現在に至る
2008年 6月	同取締役経営企画部長		
2010年 6月	同取締役専務執行役員 研究 部門、法務・薬事部担当	2019年 4月	同取締役執行役員 子会社担 当兼事業支援本部長 現在に至る
2011年 6月	同監査役		
2014年 6月	同取締役執行役員 営業・支 援部門管掌兼総務部長		

- 所有する当社の株式の数
9,384株
- 重要な兼職
日水製薬医薬品販売株式会社
(当社完全子会社)
非業務執行取締役

取締役候補者とした理由

谷津精一氏は、主に経営企画部門を経て2008年に取締役に就任し、2011年まで取締役専務執行役員を務めました。また、同年から2014年まで監査役を務めました。2014年より取締役執行役員を務めており、当社における営業、研究、支援の各部門の管理・監督機能を担ってまいりました。以上のことから、今後も取締役としての職務を適切に遂行することができるものと判断いたしました。

(注) 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

候補者番号

3

さとう こうき
佐藤 高輝

● 生年月日 1956年7月16日生（満62歳）

新任



略歴、地位、担当

1979年 4月	日本水産株式会社入社	2012年 6月	同社取締役
2005年 3月	同社総務部長	2015年 6月	同社監査役 現在に至る
2008年 6月	同社取締役		
2009年 6月	同社取締役 退任		
2009年 6月	同社執行役員		

- 所有する当社の株式の数
0株
- 重要な兼職
日本水産株式会社
監査役
(2019年6月20日辞任予定)

取締役候補者とした理由

佐藤高輝氏は、当社の親会社である日本水産株式会社において主に管理部門を経て取締役ならびに監査役を歴任し、企業経営に関する豊富な見識と経験を有していることから、当社の経営機能の強化ならびにコーポレート・ガバナンスのさらなる促進への寄与を期待しております。以上のことから、取締役としての職務を適切に遂行することができるものと判断いたしました。なお、同氏は現在、当社の親会社である日本水産株式会社の監査役ですが、2019年6月20日付にて同職の辞任を予定しており、2019年6月21日開催の当社定時株主総会における当社取締役への選任には影響いたしません。

- (注) 1. 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 佐藤高輝氏は、現在、当社の親会社である日本水産株式会社の監査役ですが、2019年6月20日付で同職を辞任予定です。

候補者番号

4

さいとう
齋藤

しん
伸

● 生年月日 1962年6月22日生（満56歳）

新任



略歴、地位、担当

1985年 4月	当社入社	2017年10月	同社へ転籍
2009年 4月	同医薬営業部長	2018年 4月	同社取締役医薬営業部長 現在に至る
2010年 6月	同執行役員医薬マーケティング部長		
2016年 6月	日水製薬医薬品販売株式会社 取締役営業部長		

- 所有する当社の株式の数
5,910株

- 重要な兼職
日水製薬医薬品販売株式会社
(当社完全子会社)
取締役医薬営業部長
(2019年6月21日退任予定)

取締役候補者とした理由

齋藤 伸氏は、主に当社グループにおける医薬営業部門を経て、2010年に執行役員に就任した後、2016年からは完全子会社である日水製薬医薬品販売株式会社の取締役を務めており、営業部門の管理・監督に係る長年の経験を当社の経営に活かせるものと期待しております。以上のことから、取締役としての職務を適切に遂行することができるものと判断いたしました。

(注) 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

候補者番号

5

せきぐち よういち
関口 洋一

● 生年月日 1957年1月5日生 (満62歳)

再任

非業務
執行



略歴、地位、担当

1979年 4月	日本水産株式会社入社	2014年 6月	同社取締役執行役員 ファインケミカル事業執行委嘱
2000年 9月	同社ファインケミカル部長		
2008年 6月	同社取締役 ファインケミカル事業部長	2014年 6月	当社取締役 現在に至る
2009年 6月	同社執行役員 ファインケミカル事業部長委嘱	2015年 5月	日本水産株式会社取締役常務執行役員 ファインケミカル事業執行委嘱 現在に至る

- 所有する当社の株式の数
2,898株

- 重要な兼職
日本水産株式会社
取締役常務執行役員
ファインケミカル事業執行委嘱
公益財団法人
日本健康栄養食品協会 理事

取締役候補者とした理由

関口洋一氏は、当社の親会社である日本水産株式会社において取締役常務執行役員としてファインケミカル事業に係る経験と見識を有しており、その豊富な経験と見識を活かして当社の経営に関する助言・監督等を行っております。以上のことから、今後も非業務執行取締役としての職務を適切に遂行することができるものと判断いたしました。

なお、関口洋一氏は、本総会終結の時をもって、取締役役に就任した後5年となります。

- (注) 1. 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 関口洋一氏は、当社の親会社である日本水産株式会社の取締役常務執行役員ファインケミカル事業執行委嘱です。

候補者番号

6

しばさき えいち
柴崎 栄一

● 生年月日 1956年5月24日生（満63歳）

再任

社外

独立
役員

略歴、地位、担当

1984年 4月	東京地方検察庁検事
1988年 4月	浦和地方検察庁検事
1989年 3月	浦和地方検察庁検事退官
1989年 4月	弁護士登録 現在に至る
1997年 6月	当社監査役
2009年 6月	同取締役 現在に至る

- 所有する当社の株式の数
83,516株
- 重要な兼職
弁護士

社外取締役候補者とした理由

柴崎栄一氏は、長年にわたり法律事務所を運営し、弁護士として法的な知識と経験を有しており、専門家として客観的視点から会社の経営に関する助言ならびに監督等を行っております。また、当社の社外取締役および非業務執行取締役によって構成される社外取締役会議において議長を務めております。以上のことから、今後も社外取締役としての職務を適切に遂行することができるものと判断いたしました。

なお、柴崎栄一氏は、本総会終結の時をもって、監査役に就任した後12年、取締役に就任した後10年通算22年となります。

- (注) 1. 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 柴崎栄一氏は、社外取締役候補者です。



略歴、地位、担当

1989年10月	株式会社コーポレートディレクション入社	2010年 3月	株式会社コーポレートディレクション取締役 現在に至る
2005年 6月	株式会社CDIメディカル代表取締役 現在に至る	2014年 6月	当社取締役 現在に至る
		2018年12月	株式会社メドピア社外取締役 現在に至る

- 所有する当社の株式の数
0株

- 重要な兼職
株式会社CDIメディカル
代表取締役
株式会社コーポレートディレクション
取締役
株式会社メドピア
社外取締役

社外取締役候補者とした理由

安島孝知氏は、株式会社コーポレートディレクションにおいて経営戦略コンサルティング企業の経営者としての経験を有しており、その豊富な経験と見識を活かして当社の経営に関する助言・監督等を行っております。以上のことから、今後も社外取締役としての職務を適切に遂行することができるものと判断いたしました。

なお、安島孝知氏は、本総会終結の時をもって、取締役に就任した後5年となります。

- (注) 1. 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 安島孝知氏は、社外取締役候補者です。

候補者番号

8

かとう かずのり
加藤 和則

● 生年月日 1963年3月9日生（満56歳）

再任

社外

独立
役員

略歴、地位、担当

1999年 5月	国立がんセンター研究所 薬効試験部室長	2011年 4月	東洋大学 理工学部 教授 現在に至る
2002年 4月	札幌医科大学 医学部 助教授	2011年 4月	順天堂大学大学院 医学研究科 客員教授 現在に至る
2009年 5月	順天堂大学 医学部 准教授	2016年 6月	当社取締役 現在に至る

- 所有する当社の株式の数
0株

- 重要な兼職
東洋大学
理工学部 教授
順天堂大学大学院
医学研究科 客員教授

社外取締役候補者とした理由

加藤和則氏は、長年にわたり大学や研究機関において基礎医学・臨床医学分野の研究を行っており、当社が標榜する「オープンイノベーション」による大学や研究機関、ベンチャー企業との共同研究・共同開発等への助言・監督等を主に行っております。以上のことから、今後も社外取締役としての職務を適切に遂行することができるものと判断いたしました。

なお、加藤和則氏は、本総会終結の時をもって、取締役役に就任した後3年となります。

- (注) 1. 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 加藤和則氏は、社外取締役候補者です。

-
- (注) 1. 当社は、取締役（業務執行取締役等であるものを除く。）との間で会社法第427条第1項に基づく責任限定契約を締結できる旨定款に規定しており、その内容の概要は、当該取締役が任務を怠ったことにより当社に損害を与えた場合は、法令が定める額を限度として損害賠償責任を負い、その責任限度が認められるのは、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときに限られるとするものです。当社は、関口洋一、柴崎栄一、安島孝知および加藤和則の4氏との間で当該契約を締結しており、4氏が取締役に選任された場合は、引き続き同様の契約を締結する予定です。
2. 当社は、柴崎栄一、安島孝知および加藤和則の3氏を東京証券取引所の定める独立役員として同取引所に届け出ており、再任された場合引き続き独立役員となる予定です。

第2号議案 監査役1名選任の件

監査役 田山 毅氏が本総会終結の時をもって任期満了となりますので、監査役1名の選任をお願いいたしますと存じます。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。
監査役候補者は次のとおりです。

候補者

た や ま
田山た け し
毅

● 生年月日 1971年1月17日生（満48歳）

再任

社外

独立
役員

略歴、地位

1993年10月	会計士補登録	2007年 6月	当社監査役 現在に至る
1997年 4月	公認会計士登録 現在に至る	2014年 6月	株式会社免疫生物研究所 社外監査役 現在に至る
1997年10月	税理士登録 現在に至る		

社外監査役候補者とした理由

田山 毅氏は公認会計士および税理士として会計の専門知識と上場企業の監査の経験の有しており、専門家として会社の監査業務に十分な見識を持っておられることから職務を適切に遂行していただけるものと判断し、専門家としての見地から当社の経営を監査していただくため、引き続き社外監査役としての選任をお願いするものであります。

なお、田山 毅氏は、本総会終結の時をもって、監査役に就任した後12年となります。

- (注) 1. 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 田山 毅氏は、社外監査役候補者です。

(注) 1. 当社は、監査役との間で会社法第427条第1項に基づく責任限定契約を締結できる旨定款に規定しており、その内容の概要は、当該監査役が任務を怠ったことにより当社に損害を与えた場合は、法令が定める額を限度として損害賠償責任を負い、その責任限度が認められるのは、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときに限られるとするものです。当社は、田山 毅氏との間で当該契約を締結しており、同氏が監査役に選任された場合は、引き続き同様の契約を締結する予定です。

2. 当社は、田山 毅氏を東京証券取引所の定める独立役員として同取引所に届け出ており、再任された場合引き続き独立役員となる予定です。

以上

事業報告

2018年4月1日から2019年3月31日まで

1 企業集団の現況に関する事項

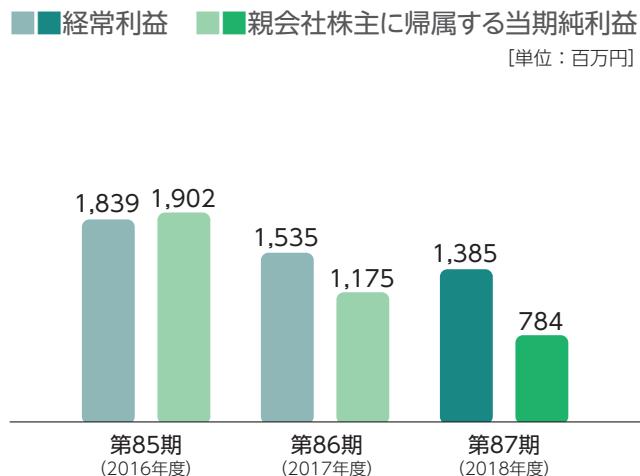
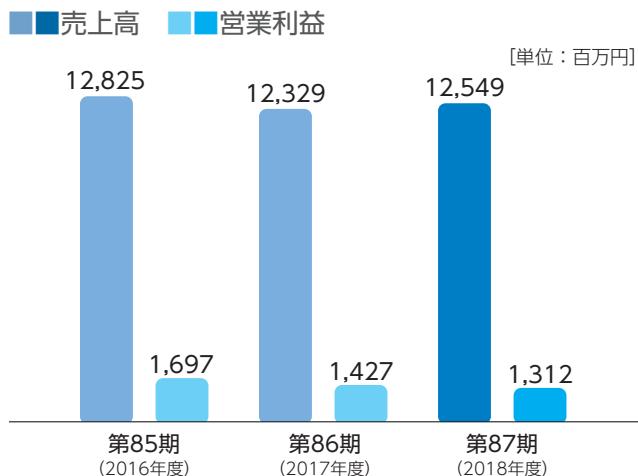
■ (1) 事業の経過およびその成果

体外診断用医薬品の国内市場は、高齢化、健康意識の向上等により、ここ数年微増で推移しております。また、2018年度の診療報酬改定は、全体ではプラスの改定が行われましたが、政府による医療費抑制策の基調は変わらず、厳しい環境が続いております。再生医療および細胞治療分野は、医療機関や企業による臨床試験が多数開始され、再生医療等製品の開発活動が活発になっております。

このような状況のもと、当連結会計年度の売上高は前年同期に比べ2億20百万円（1.8%）増加し125億49百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は前年同期に比べ1億14百万円（8.0%）減少し13億12百万円、経常利益は前年同期に比べ1億49百万円（9.8%）減少し13億85百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期に比べ3億90百万円（33.2%）減少し7億84百万円となりました。

■ 年間IRカレンダー





10月 > 11月 > 12月 > 1月 > 2月 > 3月



日水製薬オープンイノベーションプログラム
NeyeS™(エヌアイズ)公募開始

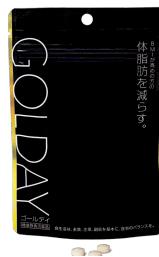
P.39参照

株主優待制度変更

P.41参照

簡易迅速カルバペナーゼ検出キット
[NG-Test CARBA5]発売

機能性表示食品
[GOLDAY]発売
(日水製薬医薬品販売)



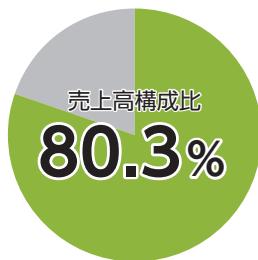
機能性表示食品
[テーブルラボ]発売
(日水製薬医薬品販売)



事業別の状況

診断薬事業

臨床診断薬ならびに産業検査薬の製造、仕入、販売と検査用機器および器材他の仕入、販売をしております。



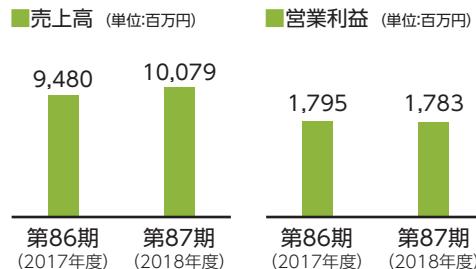
売上高
100億79百万円

営業利益
17億83百万円

売上高は前年同期に比べ5億98百万円(6.3%)増加し100億79百万円、営業利益は前年同期に比べ12百万円(0.7%)減少し17億83百万円となりました。

当セグメントの国内販売は、基幹病院や検査センターへの検査機器、製薬企業や食品企業への品質検査試薬の営業活動に注力しました。製品群別では、検査機器である「ESアナライザー」や「TRC Ready®-80 (※東ソー株式会社)」が順調に納入されたことにより、病院向けに販売している深在性真菌症の補助診断キット「ファンギテック®GテストES」の売上高が前年同期に比べ8割増加し、細菌・ウイルス中の核酸分子の増幅によって診断の補助を行うキット「TRC Ready®試薬 (※東ソー株式会社)」の売上高も前年同期に比べ8割増加しました。製薬企業向けの検査では、再生医療市場での遺伝子検査の認知度の高まりにより、遺伝子検出試薬(マイコプラズマ遺伝子検出キット「Myco Finder®」、腸管系病原菌遺伝子検出試薬キット※株式会社島津製作所等)の売上高が前年同期に比べ3割増加しました。食品企業向けの検査関係では、バイオメリュー・ジャパン株式会社から導入した微生物迅速検査製品が売上に大きく貢献しました。

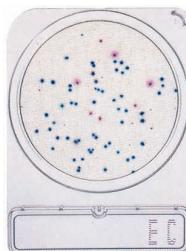
海外販売は、東南アジア(中国・モンゴル・インド・ベトナム・マレーシア等)、南米地域(エクアドル・アルゼンチン等)の新規代理店の増加により、菌数測定用乾式簡易培地「コンパクトドライ®」の売上高が前年同期に比べ4割増加しました。



臨床診断薬分野



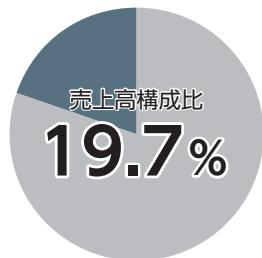
産業検査薬分野



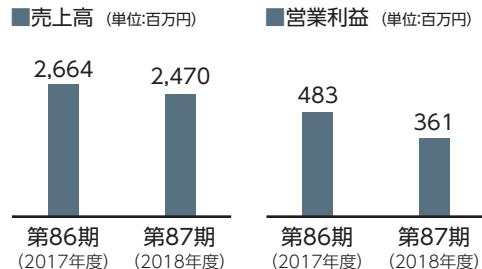
Compact Dry™
There is always a better way.

医薬事業

医薬品・健康食品他の製造、仕入、販売をしております。



売上高
24億70百万円
営業利益
3億61百万円



売上高は前年同期に比べ1億93百万円(7.3%)減少し24億70百万円、営業利益は前年同期に比べ1億21百万円(25.2%)減少し3億61百万円となりました。

当セグメントは、連結子会社の日水製薬医薬品販売株式会社において、主要取引先である健康未来創造研究会（以下、健創研）への新規会員店を拡充するとともに、会員店の販売力強化を目指し、製品プロモーション、集客支援など販売促進施策を重点的に行いました。なお、健創研の会員数は、2019年3月末で1,876店（前年同期比25店増）となっております。

また、他社プライベートブランド新製品の提案に注力したほか、機能性表示食品の新商品開発や、TV通販等の新規販売ルートの開拓を行いました。



※各事業の営業利益は、各事業に配賦できない支援部門に係る費用等8億31百万円が控除されておられません。

■ (2) 対処すべき課題

当社グループは、「利益ある成長」と「事業の拡大・発展」を企業の持続的成長における重要課題と認識し、事業環境の変化に対応し成長発展を遂げるため、新たに2019-2020年の中期経営計画を策定いたしました。

- ・ オープンイノベーションを通じて新たなビジネスを生み出す
 - ・ オンラインでグローバルにサービスや規格（海外認証、ISO対応等）を提供していく
- これらを軸として、積極的な事業領域の拡大および戦略的投資を継続してまいります。

新中期経営計画

目指す方向性

- 利益ある成長
- 新たな企業イメージ醸成
- ステークホルダーへの還元

事業における基本方針

- ▶ 事業拡大
- ▶ コスト削減
- ▶ 異業種テクノロジー

■ ビジネスモデル



■ 利益ある成長

既存事業の拡大・伸長

新技術獲得
(再生医療用培地等)



■ 新たな企業イメージ醸成

SDGs



企業としての社会的価値向上

重点課題1 成長目標とオープンイノベーション



重点課題3 採用活動と女性活躍推進



重点課題2 衛生管理



重点課題4 社員教育



重点課題5 環境保護



■ (3) 設備投資の状況

当連結会計年度中の設備投資額は3億39百万円で、診断薬製造設備の購入、研究設備の購入、物流センター倉庫の冷蔵設備工事などを行いました。

■ (4) 資金調達の状況

該当事項はありません。

■ (5) 財産および損益の状況の推移

区 分	第 84 期 (2015年度)	第 85 期 (2016年度)	第 86 期 (2017年度)	第 87 期 (2018年度)
売上高 (百万円)	12,015	12,825	12,329	12,549
営業利益 (百万円)	1,993	1,697	1,427	1,312
経常利益 (百万円)	2,998	1,839	1,535	1,385
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,041	1,902	1,175	784
1株当たり当期純利益 (円)	91.14	84.97	52.50	35.05
総資産 (百万円)	33,820	35,478	35,809	35,901
純資産 (百万円)	30,884	32,641	32,974	32,827

(注) 1.第85期より連結計算書類を作成しております。第84期については、当社単体の数値を記載しております。

2.「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第87期の期首から適用しており、第86期の総資産につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

■ (6) 重要な親会社および子会社の状況

①親会社との関係

日本水産株式会社は、当社の議決権の56% (間接所有を含む) を所有する親会社であり、当社は同社から健康食品原料・商品の仕入れおよび製商品の販売を行っております。

また、同社のグループ金融制度に参加しております。

②親会社との間の取引に関する事項

- ・製商品の販売については、市場価格等を勘案し価格交渉のうえ、一般の取引条件と同様に決定しております。
- ・原料・商品の仕入れについては、市場価格等を勘案し価格交渉のうえ、一般の取引条件と同様に決定しております。
- ・グループ金融制度については、当社、日本水産株式会社の間で基本契約を締結し、利息については市場金利を勘案し決定しております。
- ・当社取締役会は、これらの取引が当社の社内規程に基づき親会社から独立して最終的な意思決定を行っていることから、当社の利益を害するものではないと判断しております。

③重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
日水製薬医薬品販売株式会社	50百万円	100%	医薬品、医薬部外品、健康食品等の製造・販売

■ (7) 主要な営業所および工場等 (連結)

2019年3月31日現在

事業所名	所在地
当社本社	東京都台東区上野三丁目24番6号
営業拠点	第一営業所：東京（東京都台東区）、仙台（宮城県仙台市）、札幌（北海道札幌市） 第二営業所：大阪（大阪府豊中市）、名古屋（愛知県名古屋市）、広島（広島県広島市）、 福岡（福岡県福岡市）
工場	診断薬工場（茨城県結城市）、原薬工場（埼玉県久喜市）
研究所	茨城県結城市
物流センター	茨城県結城市
子会社本社	日水製薬医薬品販売（株）：東京都台東区上野一丁目18番11号 西楽堂ビル7階
子会社工場	日水製薬医薬品販売（株）：医薬工場（茨城県筑西市）

■ (8) 従業員の状況 (連結)

2019年3月31日現在

区分	従業員数	平均年齢
男性	257名	45.05歳
女性	59名	40.20歳
合計または平均	316名	44.14歳

(注) 上記のほか、臨時雇用員41名がおります。

■ (9) 主要な借入先

該当事項はありません。

2 会社の株式に関する事項

■ (1) 株式の状況

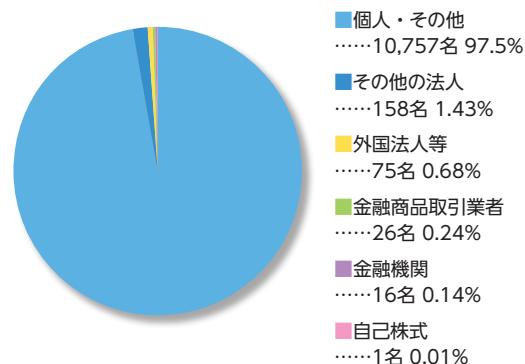
- ① 発行可能株式総数 44,000,000株
 ② 発行済株式の総数 22,547,140株 (自己株式152,384株を含む)
 ③ 株主数 11,033名 (前期末比810名増)
 ④ 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本水産株式会社	12,106,202	54.05
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	401,200	1.79
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社 (信託口)	365,800	1.63
日水物流株式会社	273,053	1.21
日水製菓みのり持株会	241,954	1.08
損害保険ジャパン日本興亜 株式会社	199,500	0.89
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口5)	165,500	0.73
J.P.MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A.1300000	121,690	0.54
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口1)	114,800	0.51
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	113,200	0.50

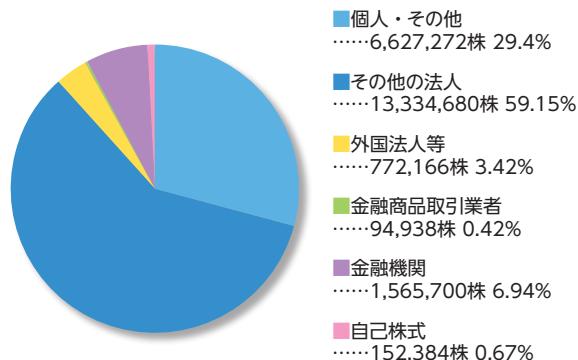
(注) 当社は自己株式を152,384株 (0.67%) 保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、上記大株主の持株比率は当該自己株式を控除し算出しております。

■ (2) 株式の分布状況

〔所有者別分布状況〕



〔所有株式数別分布状況〕



3 会社の新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 会社役員に関する事項

■ (1) 取締役および監査役の氏名等

2019年3月31日現在

氏名	地位および担当	重要な兼職の状況
小野 徳哉	代表取締役 (社長執行役員)	
谷津 精一	取締役 (執行役員 子会社担当兼経営管理本部長兼総務部長)	日水製薬医薬品販売株式会社 取締役
関口 洋一	取締役	日本水産株式会社 取締役常務執行役員 ファインケミカル事業執行委嘱 公益財団法人 日本健康栄養食品協会 理事
柴崎 栄一	取締役	弁護士
安島 孝知	取締役	株式会社CDIメディカル 代表取締役 株式会社コーポレートディレクション 取締役 株式会社メドピア 社外取締役
加藤 和則	取締役	東洋大学 理工学部 教授 順天堂大学大学院 医学研究科 客員教授
土岐 和平	監査役 (常勤)	日水製薬医薬品販売株式会社 監査役
田山 毅	監査役	公認会計士、税理士 株式会社免疫生物研究所 社外監査役
斎藤 仁	監査役	ビーエムディー株式会社 代表取締役

- (注) 1. 取締役 関口洋一氏は、非業務執行取締役です。
 2. 取締役 柴崎栄一氏、安島孝知氏および加藤和則氏は、社外取締役です。
 3. 監査役 田山 毅氏および斎藤 仁氏は、社外監査役です。
 4. 監査役 田山 毅氏は、公認会計士および税理士の資格を有し、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。
 5. 取締役 柴崎栄一氏、安島孝知氏および加藤和則氏ならびに監査役 田山 毅氏および斎藤 仁氏につきましては、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。

■ (2) 責任限定契約の内容の概要

当社は社外取締役および非業務執行取締役ならびに監査役全員と会社法第427条第1項に基づく責任限定契約を締結しており、その内容の概要は、当該役員が任務を怠ったことにより当社に損害を与えた場合は、法令が定める額を限度として損害賠償責任を負い、その責任限度が認められるのは、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときに限られるとするものです。

■ (3) 取締役および監査役の報酬等の額

取締役	6名	145百万円
		(うち社外取締役3名 36百万円)
監査役	3名	27百万円
		(うち社外監査役2名 12百万円)

(注) 取締役の支給額には当事業年度に係る取締役賞与引当金13百万円を含んでおります。

■ (4) 社外役員等に関する事項

①重要な兼職先と当社との関係

取締役 安島孝知氏は、株式会社コーポレートディレクションの取締役、株式会社CDIメディカルの代表取締役、ならびに株式会社メドピアの社外取締役です。なお、各社と当社との間には特別な関係はありません。

取締役 加藤和則氏は、東洋大学 理工学部の教授、順天堂大学大学院 医学研究科の客員教授です。なお、両大学と当社との間には特別な関係はありません。

監査役 田山 毅氏は、株式会社免疫生物研究所の社外監査役です。なお、同社と当社との間には特別な関係はありません。

監査役 斎藤 仁氏は、ビーエムディー株式会社の代表取締役です。なお、同社と当社との間には特別な関係はありません。

②当事業年度における主な活動状況

取締役 柴崎栄一氏は、取締役会15回全てに出席し、主に弁護士として得た専門の見地から発言を行っております。

取締役 安島孝知氏は、取締役会15回全てに出席し、他社での経営者としての経験、見識に基づき、議案審議等に必要発言を適宜行っております。

取締役 加藤和則氏は、取締役会15回全てに出席し、長年にわたる大学や研究機関での研究の経験、見識に基づき、議案審議等に必要発言を適宜行っております。

上記の社外取締役および非業務執行取締役 関口洋一氏の4名は、社外取締役会議（議長 柴崎栄一氏）を7回開催し、経営上の重要事項やコーポレート・ガバナンス体制の推進について積極的な意見交換・情報共有を行っております。当事業年度は企業再編に係るリスクマネジメント体制の整備に関する現状分析と対策についての社長への提言、ならびに研究部門の投資戦略や海外事業展開について各部門へのヒアリングを行いました。

監査役 田山 毅氏は、取締役会15回および監査役会18回全てに出席し、主に公認会計士、税理士として得た専門的見地から発言を行っております。

監査役 斎藤 仁氏は、取締役会15回中14回および監査役会18回全てに出席し、長年にわたり臨床診断薬業界において培った経営者としての経験と見識をもって発言を行っております。

5 会計監査人の状況

■ (1) 会計監査人の名称

EY新日本有限責任監査法人

■ (2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

①当事業年度に係る会計監査人の報酬等

34百万円

②当社および子会社が支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額

34百万円

(注) 当社と会計監査人との間の契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬の額を区別しておらず、実質的にも区分できないため、上記金額はこれらの合計額で記載しております。

■ (3) 会計監査人の報酬等について監査役会の同意した理由

監査役会は、取締役、社内関係部署および会計監査人から必要な資料を入手し報告を受け、前事業年度の監査計画・監査の遂行状況、当該事業年度の報酬見積りの相当性等を確認した結果、会計監査人の報酬等について、監査品質を維持向上していくために合理的な水準と判断し、同意いたしました。

■ (4) 非監査業務の内容

該当事項はありません。

■ (5) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

当社は、会計監査人の監査品質、品質管理、独立性、監査能力、職務執行の状況などを勘案し、継続して職務を執行することについて重大な疑義が生じた場合、監査役会の決定により、会計監査人の解任または不再任の議案を株主総会に付議する方針です。また、会計監査人が会社法第340条第1項各号のいずれかに該当すると認められたときは、監査役会が会計監査人を解任する方針です。

■ (6) 会計監査人の評価基準

監査役会は、公益社団法人日本監査役協会が2017年10月13日改定した「会計監査人の評価及び選定基準策定に関する監査役等の実務指針」に基づき、7分類（監査法人の品質管理、監査チーム、監査報酬、監査役等とのコミュニケーション、経営者等との関係、グループ監査、不正リスク）103項目の関連する事項についてEY新日本有限責任監査法人に実施報告を求め評価しております。

また、2018年7月付けで受領した金融庁公認会計士・監査審査会の検査結果の報告等を活用して評価しております。

■ (7) 会計監査人の再任理由

当社は現任の会計監査人から適時に監査品質に関する報告を求めると共に、監査法人のガバナンス・コードへの対応状況についても評価し計画通りに進んでいると判断したため、第88期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業年度における当社の会計監査人は現任を再任することにいたしました。

■ (8) 責任限定契約の内容の概要

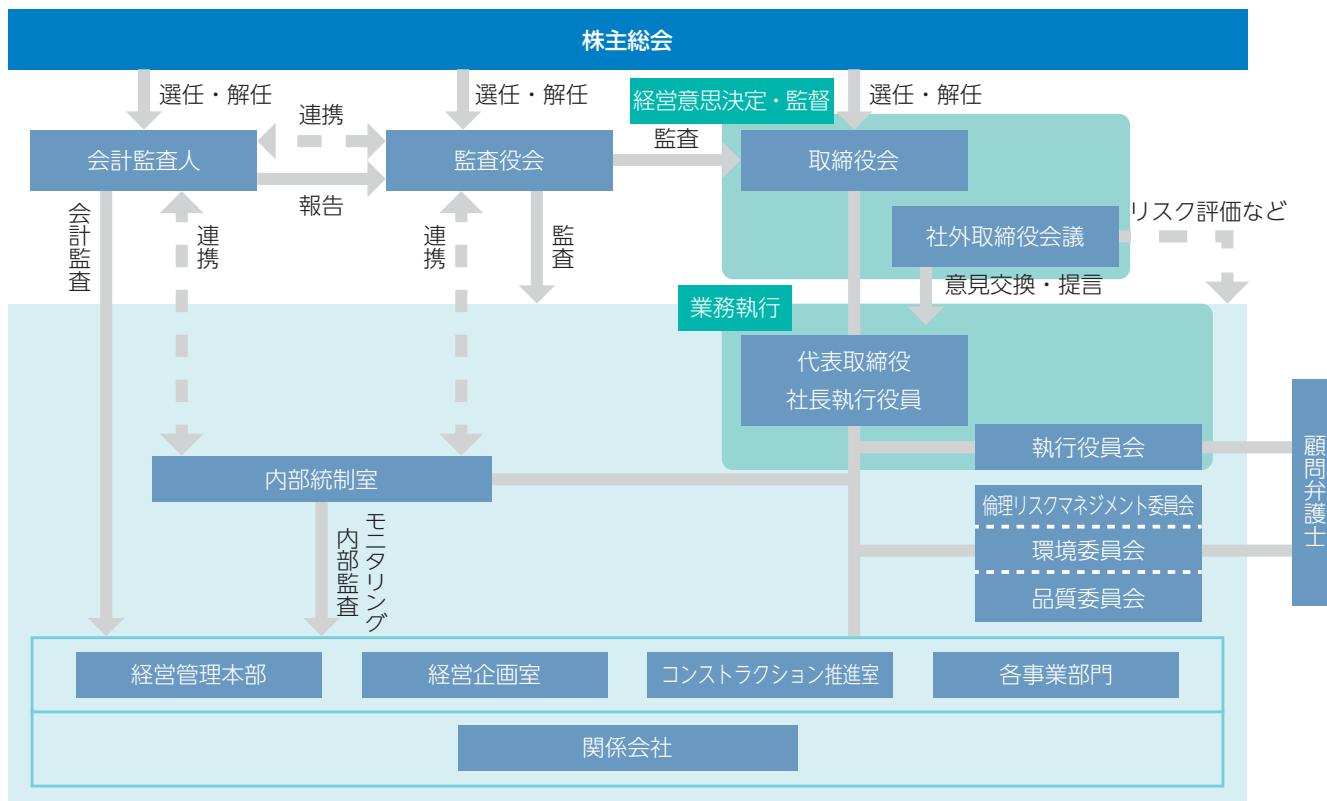
該当事項はありません。

6 コーポレート・ガバナンス体制について

当社グループは、企業価値の向上を目指し、業務を適正かつ効率的に行うとともに、適法で透明性の高い経営を実現するための体制を整備し、必要な施策を実施していくことが重要と考えております。そのため、役職員の職務執行が法令または定款等に違反しないための法令遵守体制、会社の重大な損失の発生を未然に防止するためのリスク管理体制、財務情報その他企業情報を適正かつ適時に開示するための体制について、それぞれの整備、維持に努めております。

当社グループのコーポレート・ガバナンス体制の模式図は次のとおりです。

2019年3月31日現在



7 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、収益力向上による株主の皆さまへの利益還元を、企業経営の重要な使命と認識しております。利益配分は、安定的な配当継続を重視するとともに、企業成長の実現に向けて内部留保した利益を、新規事業や設備投資等に活用したいと考えております。

2019年3月期におきましては、1株当たり当期純利益が35円05銭にとどまっておりますが、これは当社の連結子会社である日水製薬医薬品販売株式会社において、当期及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を取崩し法人税等調整額に計上したことによるものであり、営業成績自体に起因するものではありません。よって、当社の配当方針と現下の経営状況を鑑み、以下のとおり期末配当を実施させていただきます。

■ 期末配当に関する事項

① 配当財産の種類

金銭といたします。

② 株主に対する配当財産の割当に関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき20円

総額 447,895,120円

③ 剰余金の配当が効力を生じる日

2019年6月3日

連結計算書類

連結貸借対照表

[単位：百万円]

科 目	当連結会計年度末 2019年3月31日現在
資産の部	
流動資産	29,406
現金及び預金	2,401
受取手形及び売掛金	3,403
有価証券	500
商品及び製品	1,799
仕掛品	341
原材料及び貯蔵品	871
関係会社預け金	19,983
その他	140
貸倒引当金	△35
固定資産	6,494
有形固定資産	3,848
建物及び構築物	1,444
機械装置及び運搬具	374
土地	1,752
リース資産	34
建設仮勘定	78
その他	162
無形固定資産	109
ソフトウェア	72
リース資産	28
ソフトウェア仮勘定	1
その他	6
投資その他の資産	2,537
投資有価証券	2,203
繰延税金資産	49
その他	315
貸倒引当金	△31
資産合計	35,901

科 目	当連結会計年度末 2019年3月31日現在
負債の部	
流動負債	2,481
買掛金	1,529
リース債務	37
未払法人税等	198
未払消費税等	77
賞与引当金	193
役員賞与引当金	16
歩戻引当金	10
その他	417
固定負債	592
退職給付に係る負債	2
リース債務	30
繰延税金負債	178
預り保証金	372
その他	7
負債合計	3,073
純資産の部	
株主資本	32,688
資本金	4,449
資本剰余金	5,378
利益剰余金	22,960
自己株式	△100
その他の包括利益累計額	139
その他有価証券評価差額金	139
純資産合計	32,827
負債及び純資産合計	35,901

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

[単位：百万円]

	当連結会計年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	12,549
売上原価	6,791
売上総利益	5,758
販売費及び一般管理費	4,445
営業利益	1,312
営業外収益	89
受取利息及び配当金	60
システム使用料	10
その他	18
営業外費用	17
支払利息	0
デリバティブ評価損	13
為替差損	1
その他	2
経常利益	1,385
特別損失	2
固定資産処分損	2
税金等調整前当期純利益	1,382
法人税、住民税及び事業税	390
法人税等調整額	206
当期純利益	784
非支配株主に帰属する当期純利益	—
親会社株主に帰属する当期純利益	784

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

計算書類

貸借対照表

[単位：百万円]

科 目	当事業年度末 2019年3月31日現在
資産の部	
流動資産	27,252
現金及び預金	1,871
受取手形	24
売掛金	2,573
有価証券	500
商品及び製品	1,060
仕掛品	303
原材料及び貯蔵品	774
前払費用	41
関係会社預け金	19,983
未収入金	46
未収収益	15
リース投資資産	46
その他	13
貸倒引当金	△2
固定資産	8,099
有形固定資産	2,252
建物	784
構築物	6
機械装置	330
車両運搬具	0
工具器具備品	131
土地	885
リース資産	34
建設仮勘定	78
無形固定資産	108
ソフトウェア	72
リース資産	28
ソフトウェア仮勘定	1
その他	5
投資その他の資産	5,738
投資有価証券	1,846
関係会社株式	3,496
保証預け金	172
長期前払費用	8
リース投資資産	93
繰延税金資産	113
その他	6
資産合計	35,352

科 目	当事業年度末 2019年3月31日現在
負債の部	
流動負債	2,104
買掛金	1,356
リース債務	37
未払金	46
未払法人税等	189
未払消費税等	17
未払費用	250
預り金	30
賞与引当金	155
役員賞与引当金	13
その他	6
固定負債	413
退職給付引当金	1
リース債務	30
預り保証金	372
その他	7
負債合計	2,518
純資産の部	
株主資本	32,695
資本金	4,449
資本剰余金	5,378
資本準備金	5,376
その他資本剰余金	2
利益剰余金	22,966
利益準備金	304
その他利益剰余金	22,662
別途積立金	11,830
繰越利益剰余金	10,832
自己株式	△100
評価・換算差額等	139
その他有価証券評価差額金	139
純資産合計	32,834
負債及び純資産合計	35,352

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

[単位：百万円]

	当事業年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	10,091
売上原価	5,666
売上総利益	4,425
販売費及び一般管理費	3,343
営業利益	1,081
営業外収益	87
受取利息及び配当金	60
システム使用料	10
その他	16
営業外費用	15
支払利息	0
デリバティブ評価損	13
為替差損	1
その他	0
経常利益	1,154
特別損失	1
固定資産処分損	1
税引前当期純利益	1,152
法人税、住民税及び事業税	381
法人税等調整額	△35
当期純利益	807

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

独立監査人の監査報告書

2019年5月13日

日水製薬株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 永澤 宏一 ㊞

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鶴田 純一郎 ㊞

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、日水製薬株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日水製薬株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

会計監査人の監査報告書 謄本

独立監査人の監査報告書

2019年5月13日

日水製薬株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 永澤 宏一 ㊞
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 鶴田 純一郎 ㊞
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、日水製薬株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第87期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査役会の監査報告書 謄本

監 査 報 告 書

当監査役会は、2018年4月1日から2019年3月31日までの第87期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
 - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
 - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
 - ③ 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第5号イの留意した事項及び同号ロの判断及び理由については、取締役会その他の審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。
 - ④ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を【監査に関する品質管理基準】（2005年（平成17年）10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
 - ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
 - ④ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果
会計監査人EY新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (3) 連結計算書類の監査結果
会計監査人EY新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2019年5月13日

白水製薬株式会社	監査役会	
常勤監査役	土 岐 和 平	㊟
社外監査役	田 山 毅	㊟
社外監査役	斎 藤 仁	㊟

以 上

(ご参考)

中期経営計画説明会のご案内

株主の皆さまに当社へのご理解を一層深めていただくため、中期経営計画説明会を開催いたします。詳しい開催内容は以下のとおりとなります。

●中期経営計画説明会

開催時間と会場	2019年6月21日（金曜日） 株主総会終了後 約30分を予定 コングレスクエア日本橋 2階 コンベンションホールAB
テーマ	新中期経営計画の概要について 株主の皆さまにより深くご理解いただきます。

株主の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日水製薬オープンイノベーションプログラム「NeyeS™(エヌアイズ)」の進捗状況



コンセプト：アールリーステージ（基礎・前臨床）の発掘、情報収集

- ・対象：国内の研究施設・研究者
- ・期間：原則1年間
- ・研究費：1件当たり100～500万円
- ・実績：2018年度は5件を採択



新たな芽に、積極的な投資を

本プログラムでは、当社が標榜する探索領域（「再生医療関連技術」「細胞培養関連シーズ」「検査・検出技術」）に取り組む国内の若手研究者を支援し、将来の医療に役立つ“芽”となることを期待しております。2019年度以降も継続し、積極的投資を行う予定です。

「@BactLAB™」の活用によるコンパクトドライ®の世界展開戦略



世界中に、食の安全・安心を届けるために

食の安全・安心は人類すべての重要課題です。

「@BactLAB™」は世界中で衛生管理に使われる菌数測定用簡易培地「コンパクトドライ®」のさらなる利便性拡大のため開発され、amazonクラウドと連携したAI（人工知能）を活用した「いつでも」「どこでも」「誰でも」迅速に利用できる菌数測定（コロニーカウント）サービスです。原産地から加工・包装、最終消費地がグローバルに展開される食品産業において、衛生管理の手法を統一し、安全・安心な食品づくりの根幹を支えるサービスを目指しております。

株主優待制度について



当社では、株主の皆さまへの利益還元の一環として、以下のとおり株主優待（年2回）を実施しております。

（年2回）

株数ランク	100株以上	500株以上	1,000株以上
優待内容	500円分QUOカード	2,000円相当「選べる優待」	5,000円相当「選べる優待」

■ 5,000円相当「選べる優待」 （対象：2019年3月31日現在の株主さま）

1 **オニヌイ**



2 **オニヌイ**



3 **唯谷園**



4 **NH Nipponham**



5



6



7



8



- 1 日本水産 缶詰・スープ缶詰セット
- 2 日本水産 水産缶詰・瓶詰セット
- 3 永谷園 お茶漬け&白子のり味付のり詰合せ
- 4 ニッポンハム 吟王ハムセット
- 5 アサヒ ファミリーセット
- 6 カゴメ フルーツ+野菜飲料ギフト
- 7 新宿高野 果実ピューアゼリー6入
- 8 キョーマン いつでも新鮮ギフトセット2セット

■ 2,000円相当「選べる優待」 （対象：2019年3月31日現在の株主さま）

1 **オニヌイ**



2 **唯谷園**



3



4



5



6



- 1 日本水産 ふかひれスープ・缶詰・瓶詰セット
- 2 永谷園 お茶漬け&白子のり味付のり詰合せ
- 3 アサヒ飲料 ウェルチギフト
- 4 キョーマン いつでも新鮮ギフトセット KIS-20
- 5 シャトレーゼ フルーツジュレ 9個入り
- 6 サッポロ一番 旅麺 札幌味噌ラーメン×12個

※「選べる優待」の内容はメーカー都合等により今後変更となる可能性があります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	事業年度終了後から3ヵ月以内
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 (URL https://www.nissui-pharm.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

お取扱窓口……………証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。

証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）、下記のお取扱店にてお取次ぎいたします。

なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、三井住友信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

お問合せ先……………〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行 証券代行部

フリーダイヤル 0120-782-031（土・日・祝日を除く9：00～17：00）

お取扱店……………三井住友信託銀行 本店および全国各支店

未払配当金のお支払い……三井住友信託銀行 本店および全国各支店

●単元未満株式の買増しのご案内

当社は単元未満株式の買増制度を採用しておりますので、単元未満株式をご所有の株主さまは1単元（100株）となるまでお買い増しいただくことができます。買増しのお手続きについては、口座をお持ちの証券会社（特別口座の場合は三井住友信託銀行株式会社）にお問い合わせください。

株主総会会場ご案内図

株主総会当日のお土産はございません。何とぞご了承ください。

会場

東京都中央区日本橋一丁目3番13号 東京建物日本橋ビル
コングレスクエア日本橋 2階 コンベンションホールAB
TEL : 03-3275-2090



グーグルマップ



GPSをオンにすると現在地が表示されます。

交通のご案内

- ① 東京メトロ銀座線・東西線・都営浅草線「日本橋」駅 B9出口直結
- ② 東京メトロ半蔵門線「三越前」駅 B5出口より徒歩3分
- ③ JR線「東京」駅 日本橋口より徒歩5分
- ④ JR線「東京」駅 八重洲中央口より徒歩10分



日水製薬株式会社

お問合せ先 〒110-8736 東京都台東区上野三丁目24番6号
TEL : 03 (5846) 5611 (代表) FAX : 03 (5846) 5619
URL : <https://www.nissui-pharm.co.jp>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

